



【第44号】
発行所
編集発行人
大分・日田・中津江村
川津一人

臨時村議会

林業構造改善事業
協議会条例の制定
国保七割給付が実現

去る九月十七日、午前十時に役場会議室で第七回臨時村議会が開かれました。
議案は林業構造改善事業外七議案が提出され、詳細にわたる審議の結果、いずれも原案どおり可決され、午後二時すぎ閉会された。以下は各議案別の内容である。

議決内容

(第五十号議案) 中津江村林業構造改善事業協議会条例の制定について。
この協議会は、こんど本県下二ヶ村を指定することになつておる構造改善事業の計画や実施に関する重要な事項を調査したり審議するために設置するものである。
指定を受ける二ヶ村は、本村と直川村が予定されており、指定が決まると林道の開設や、ワサビ田造成、推茸乾燥場などの事業がある。期間は四十年から三ヶ年で実施される事業だから、事務量も増大することになるので、事務局を置き二名の専任と振興、企画、林組合の職員で兼務させることになつてゐる。
(第五十一号議案) 中津江村国民健康保険条例の一部改正について。
これは国民健康保険の七割給付をするというものであり(前月号村報記載)現在家族五割、世帯主七割の給付であつたが四十年四月から全国七割給付となるが、日田郡では全

村話し合ひで、来年一月から七割給付を実施することになつたのである。

(第五十二号議案) 教育委員会委員の任命について
このことは、九月三十日で任期が満了するので再任をしようとするのであり委員は次の二名 田島マサ 田島参一郎
(第五十三号議案) 固定資産評価審査委員の選任について
固定資産を評価して、異議の申し出があつたとき、審査する委員で、任期は三年となつており兼職ができなく、川野知平氏が死亡したため後任として川野一徳氏を選任するものである。

(第五十四号議案) 山村振興林道開設事業実施について
この山村振興林道田ノ口線は、すでに本紙をもつて紹介してあるので詳しいことについては省く。三十七年、三十八年の事業を終り、八所部落の入口まで完通しており、三十九年度の六六〇米、事業費三百五十拾万の事業

を行なうとするものである
(第五十五号議案) 専決処分報告について
地方税の一部が改正になり、村民税の課税方式が変更したため、村民税が減収となるので、これを充てるため起債の借入手続き申請が急を要し専決したものである。

(第五十六号議案)
昭和三十九年度中津江村一般会計補正予算について
三十九年度一般会計予算額に、総額四、四〇一十千円を追加しようとするものであり、この内の主なものは次の通り、(単位千円)
(才入) 田ノ口線林道開設費負担金六九九
(才入) 田ノ口線林道開設費負担金六九九
(才出) 総務費四八八、林業費四、一五五
(才出) 総務費四八八、林業費四、一五五
(第五十七号議案) 三十九年度国保の補正予算は、一、二二二千円が増額、

附近部落部原

冷めたい風とともに
朝靄が濃くなり日留りが
恋しい季節となると
心なしか深緑も紅ばみ
始めます
またこの季節は年間
の努力と汗の結晶、農
作物の収穫の季節でも
あります。台風等被害
もどうやら無事に過ぎ
近年にない豊作も予想
されています
やがて訪れるきびし
い冬の準備や収穫に村
民のみなさんも一段と
いそしんでください

(みのりの秋)

10月広報ごよみ
1日 戦没者追悼式〔中津江中学校〕
4日 川辺小学校運動会
6日 農林懇談会〔中津江農事センター〕
7日 農協婦人部旅行
10日 オリンピック開会式
12日 狂犬病予防注射(鯛生、丸蔵)
13日 " (川辺野田)
14日 鯛生校区成人病精密検査鯛生丸蔵小中学生検べん
15日 危検物取扱主任者試験願書締切
25日 珠算競技大会
11月15日 珠算検定
共済特別推進運動月間(11月)

紀元前7世紀に誕生し293回を重ねる

スポーツとは、人間の能力の限界に、人間が挑ぶもうとするものである。
今東京ではスポーツの祭典第十八回オリンピックが開催されているが、私たちは、この大会を見、そして聞いた時、国境を越え、人種を越え、宗教を越え、全てものを超越したスポーツの低に流れる精神と、意義に触れた時、全らゆるものに勝る美しい、人間の真の姿を見いだせるのである。
しかしそのオリンピックを語り、スポーツを語るうえには、古代オリンピックが、どのようにしてはじまり、どのようにして消え去つたか知つておかねばならない。
二千数百年も昔の若人たちが、一本のしゅうろの小枝と、一個のオリブの葉の冠で表わされていたスポーツの栄光と郷土(当時は都市国家)の名譽のため、正々堂々と競技し、フェアプレーをたたえていたということしかもこの祭典が一九六九年間「二九三回」も続いたということは、ようやく六四四年間「十八回」を重ねた近代オリンピックと比べ、なんと驚くべきことなのであるか。
古代ギリシャでオリンピック競技が行なわれていたのは、伝説の上でも知られていた。十八世紀の中ごろ英国の考古学者がギリシャの遺跡の発掘を行い、一九六一年ドイツの大学教授が、競技場などの全部を発掘して、ギリシャでは神話の時代にも、戦勝の祝いの行事として、また戦死者をとむらうための祭典行事として、競技が行なわれていたことが解かった。
史実にある第一回のオリンピックは、紀元前七七六年に開かれ、スタディオンの優勝者エリスのクイポスの名が記録に記された。その後だいにアフリカ、小アジア、イタリアなどの地中海沿岸にできた植民地の選手が活躍するようになり、またマケドニアの支配下になつて職業的な選手が優勝したり、強い選手が買収されて所属都市を渡り出したり、八百長試合なども越つた。そしてギリシャが衰え、ローマの支配下になると、さらに墮落してしまつた。やがてキリスト教がローマに広がり異教の祭典であるオリンピックは、テオドロシウス帝の禁令で、二九三回を最後に幕を閉じた。



